

東京室内管弦楽団 × ピアノサークル・みなと

珠玉の室内楽演奏会

TOKYO
Chamber
Orchestra
<https://www.tco.or.jp>

MINATO

響宴

ピアノと弦が織りなす、室内楽の名曲の数々
かめありリオホール

2027年
2月27日(土)

開場 12:40

開演 13:00



チケット¥1,500

全席自由

(大人/子ども共通)

※未就学児入場不可

▲ オンラインチケットはこちら
<https://peatix.com/event/5240081>

お問い合わせ

minato.piano.circle@gmail.com



演奏曲目 (抜粋)

ブラームス/ピアノ四重奏曲 第1番 第4楽章

シューマン/ピアノ五重奏曲 第1・第3楽章

メンデルスゾーン/ピアノ三重奏曲 第1番 第1楽章

ピアソラ/「ブエノスアイレスの四季」より《冬》

ショパン/ピアノ協奏曲 第1番 第2楽章 (五重奏版)

主催：ピアノサークル・みなと

協力：一般社団法人東京室内管弦楽団

後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

～東京室内管弦楽団/奏者～



ヴァイオリン 根来 由実

東京藝術大学卒業。オーベルニュ室内管など国内外のオーケストラのコンサートマスターとして客演。Disney公式の周年ツアー、billboard classicなどのコンマスも務める。東京室内管弦楽団コンサートマスター。2025年よりソロ活動Violismを開始。コンサートイマジン所属アーティスト。



ヴァイオリン 相原 千興

ザルツブルグ国際モーツァルトコンクール派遣選考会にて(第1回日本モーツァルト音楽大賞選考演奏会)ヴァイオリン部門優秀賞を受賞。桐朋学園大学音楽学部演奏学科(弦)卒業。江藤俊哉氏に師事。国内外で演奏活動を展開。現在、東京フォルトゥーナ室内管弦楽団コンサートマスター、東京室内管弦楽団ヴァイオリン奏者。



チェロ 石川理史

5歳よりチェロを始める。米国での研鑽を経て、桐朋学園大学カレッジ・ディプロマコース修了。在京プロオーケストラ、Kバレエ、ブロードウェイミュージカルなど幅広い舞台で活躍。ソリストとしてオーケストラとの共演も重なる。コパケンと仲間たちオーケストラ首席チェロ奏者、東京室内管弦楽団チェロ奏者。



ヴィオラ 河野 理恵子

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。神奈川フィルハーモニー管弦楽団に在籍。同団首席奏者を歴任。ソロ・室内楽・客演首席奏者として国内外で幅広く活動し、後進の指導にも尽力。現在、東京室内管弦楽団首席ヴィオラ奏者を務める。

～ピアノサークル・みなと/ピアニストと曲目紹介～

ベートーヴェン

ピアノ三重奏曲 変ロ長調 Op.97 「大公」 第1楽章 Pf. 鳥居 みか
「大公」の愛称で親しまれる、ベートーヴェンの室内楽作品を代表する名曲です。穏やかで気品ある主題が、ピアノ・ヴァイオリン・チェロそれぞれの声によって豊かに展開されます。三つの楽器が対等に語り合う、壮大でありながら親密な音楽をお楽しみください。

ブラームス

ピアノ三重奏曲 第3番 ハ短調 Op.101 第1楽章 Pf. 松丸 亜以
ブラームスが晩年に残した、深い精神性を感じさせる作品です。力強く緊張感に満ちた冒頭から、三つの楽器が密接に絡み合いながら音楽を進めていきます。重厚な響きの中に、歌うような旋律や繊細な陰影が浮かび上がります。

シューベルト

ピアノ三重奏曲「ノットウルノ」変ホ長調 D.897 Op.148 Pf. 佐々木 清美
「ノットウルノ（夜想曲）」という名の通り、夜の静けさを思わせる穏やかで美しい作品です。三つの楽器が旋律を受け渡ししながら紡ぎます。響きが聴く人を包み、まるで天上の世界へ誘うかのようです。静謐な音でシューベルトの抒情を味わえる一曲です。

モーツァルト

ピアノ三重奏曲 変ホ長調 K.502 第1楽章 Pf. なすなおこ
明るく端正な音楽の中に、モーツァルトならではの細やかな表情が息づいています。三つの楽器が互いの旋律を受け渡ししながら、軽やかに音楽を進めていきます。明快な美しさと、随所に現れる繊細なニュアンスが魅力の一曲です。

モーツァルト

ピアノ四重奏曲 変ホ長調 K.493 第1楽章 Pf. May
明るく伸びやかな変ホ長調の響きから始まる、華やかな作品です。ピアノと弦楽器がそれぞれの個性を生かしながら、まるで会話をするように音楽を進めていきます。軽やかな躍動感の中にも、モーツァルトならではの緻密な構成美が感じられます。

ピアソラ

「ブエノスアイレスの四季」より《冬》 Pf. May
アルゼンチン・タンゴの情熱的なリズムと、クラシック音楽の豊かな表現が融合したピアソラの代表作です。鋭く躍動するリズムの一方で、どこか切なく都会的な旋律が心に残ります。ピアノ・ヴァイオリン・チェロによる三重奏ならではの、濃密で自由な音のやりとりも聴きどころです。

メンデルスゾーン

ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 Op.49 第1楽章 Pf. みかわ
歌うようなチェロの旋律から始まり、やがて三つの楽器が一体となって音楽を大きく動かしていきます。流麗な旋律と軽やかなピアノの動き、弦楽器との緊密な掛け合いが魅力です。若々しい情熱と優美さが同居した、メンデルスゾーンを代表する室内楽作品です。

フォーレ

ピアノ四重奏曲 第1番 ハ短調 Op.15 第1楽章 Pf. 長山 利恵
情熱的で印象的な冒頭から始まり、ピアノと弦楽器が緊密に絡み合いながら音楽を紡いでいきます。フォーレ独特の繊細な和声と、流れるような美しい旋律が随所に現れます。華やかさの中にもどこか静かな翳りを感じさせる、フランス音楽らしい魅力にあふれた作品です。

モーツァルト

ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 K.478 第1楽章 Pf. 栗原 晶代
モーツァルトの作品としては珍しい、緊張感のあるト短調で書かれています。冒頭から強いドラマ性を感じさせる音楽が展開し、ピアノと弦楽器が激しく、そして繊細に対話します。華やかさだけではなく、深い陰影と情熱を感じていただける作品です。

ブラームス

ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 Op.25 第4楽章 Pf. 栗原 香織
ハンガリーやロマの民族音楽の要素を取り入れた躍動的なリズムが大きな魅力となっています。情熱的な旋律と重厚な響きが次々と展開し、音楽は徐々に熱を帯びていきます。激しさと華やかさを併せ持つ、ブラームスの魅力が存分に味わえる終楽章です。

ブラームス

ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34 第2楽章 Pf. 神島 良太
激しくドラマティックな第1楽章とは対照的に、穏やかで内省的な表情を見せる第2楽章です。ピアノと弦楽器が美しい旋律を受け渡ししながら、静かに音楽を深めていきます。温かさとおほのかな哀しみが共存する、ブラームスの魅力が凝縮された楽章です。

シューマン

ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44 第1楽章 Pf. 鈴木 里菜子
ピアノ五重奏という編成の魅力が世に広めた、室内楽の代表的な名作です。冒頭から堂々とした主題が提示され、ピアノと弦楽器が力強く応答しながら音楽を展開します。情熱的な表現と豊かな旋律が次々と現れ、シューマン独特のロマンティックな世界へと引き込まれます。

シューマン

ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44 第3楽章 Pf. 大福 佑佳
第1楽章の壮大さとは対照的に、軽快で遊び心に満ちた楽章です。細やかなリズムの動きや、楽器同士の小気味よい掛け合いが次々と現れます。五つの楽器がまるで一つの大きなアンサンブルのように動く、シューマンの巧みな筆致をお楽しみください。

ドヴォルザーク

ピアノ五重奏曲 第2番 イ長調 Op.81 第2楽章 Pf. 菊地 佑樹
美しい旋律と民族的なリズム、豊かな響きが融合したドヴォルザークの代表作です。チェロやヴァイオリンが歌うような旋律を奏でる一方、ピアノは全体を支えながら華やかな動きを見せます。ボヘミアの民族音楽を思わせる温かさと、壮大な室内楽の響きをお楽しみください。

ショパン

ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 第2楽章（五重奏版） Pf. ゆかこ
ショパンの音楽の中でも特に美しく、詩情豊かな旋律が印象的な緩徐楽章です。オーケストラとは異なる五重奏ならではの親密な響きによって、旋律の繊細な表情がより身近に感じられます。夜の静けさを思わせるような、夢見るような音楽のひとつをお楽しみください。

バッハ

チェンバロ協奏曲 第1番 二短調 第1楽章 BWV1052 Pf. 白石 紗彩
力強いリズムと緻密な対位法が織りなす、躍動感あふれる音楽です。独奏楽器とアンサンブルが互いに呼応し、時には競い合うように音楽を展開します。バッハならではの端正な構築美と、豊かな生命力をお楽しみください。